

論点等説明シート

事業名	公的年金制度等の適正な運営に必要な経費(保険料納付手数料等)					
予算の状況 (単位:百万円)		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求
	予算額(補正後)	2,200	2,325	2,589	2,220	
	執行額	1,765	1,816	1,934		
	執行率	80.2%	78.1%	74.7%		

事業についての論点等

(事業の概要)

国民年金及び厚生年金保険事業における適用の促進、保険料等収納対策の推進のため、以下の事業を実施する。

【国民年金保険料の取扱手数料に係る経費】

被保険者が国民年金保険料を口座振替やコンビニ又はクレジット払い等で納付した場合に、金融機関、コンビニ、クレジット会社等へ取扱手数料の支払いを実施。

(主な納付制度の導入)[件数]

H16.2 コンビニ納付の導入 [H22'] 1,164万 [H23'] 1,223万 [H24'] 1,316万
 H20.2 クレジットカード納付の導入 [H22'] 103万 [H23'] 118万 [H24'] 126万

(国年納付率(最終))

[H17'] 72.4% [H18'] 70.8% [H19'] 68.6%
 [H20'] 66.8% [H21'] 65.3% [H22'] 64.5%

※平成24年度収納率(現年度分)は23年度に比べて上昇(58.6% → 59.0%)

【社会保険料の口座振替手数料】

事業所が社会保険料を口座振替により納付した場合に、金融機関へ手数料の支払いを実施。

(厚年収納率) [H23']98.0% [24']98.1%

(論点)

○予算額に対し、一定の不用額が出ており、予算積算上の納付率(目標値)に実際の納付率が追いついていない状況であること、国民年金においてはコンビニ等の納付件数は伸びているものの、納付率は低水準であることから、その現状分析を行うとともに、納付率を上げるための効果的な施策について検討する必要があるのではないか。